

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	過疎地域としての防災対策と災害時の応援についての訓練、夜間を想定した訓練の実施ができていない。	①グループホーム周辺地域の現状を把握する(協力体制の確認) 夏季に夜間を想定した避難訓練の実施	①開所時元気だった近所の方が高齢となっているので現状を把握すると同時にすみかの現状も知って頂く。協力を得ることが出来るのかを確認し訓練への協力、災害時の協力をお願いする。 夏季に夜間を想定した訓練を実施する。夜勤者がどのように対応すればいいかをマニュアル化する。	12ヶ月
2	33	重度化した時の確認書による記録の保管を行っていない。	①重度化した時の確認書の作成 ご利用者、ご家族と再度確認を行い記録として保管する	①外部評価後、運営推進会議にて報告した際、地域包括支援センターを介して市よりフォーマットの提供をして頂くことになる。フォーマットを参考にすみか独自の確認書を作成する。 変化のあった時々確認書を取り交わすようにする。	12ヶ月
3	4	開催した推進会議の出席率が低い。来季からのメンバー構成を工夫していく必要がある。	①自治体の参加、協力を得る グループホームのイベントの機会に家族の参加もお願いする	①自治体の協力、参加が得られるか確認する。メンバーの検討をし、参加者を増やしていくように努める。 ご家族が参加できるイベントの計画を立て実施する。	12ヶ月
4	2	コロナの影響もあり、地域との交流の機会が減少していたが、今後も引き続きご利用者との交流の機会を設けていく。	①ひろば喫茶への参加の継続 グループホームにボランティアの方を積極的に招き、地域の方にもグループホームの事を知って頂く	①ひろば喫茶への参加を継続し、積極的に外出の機会を作る。 ボランティアの方を積極的に来ていただけるよう計画する。ボランティアの方の協力を得ながら畑仕事が可能か、検討する。 すみかのことも知って頂けるように努める。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。
複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成してください。